問題の町有地 41対8で賣払い

十月の定例足寄町議会の二日間を通じての焦点となつた佐々木正勝氏への町有地売り払い是か非かの論議のテンマツ●

小林町長　昨日来の佐々木氏にたいする処分の問題従来の農業経営の中に入れていたので六、八一七平方㍍を三十五万七千三百円で売り払いしたい

新沼議員　売り払いの理由が薄弱である、耕作面積がすくないというが前回は鑑定士に依頼して佐々木氏の方を宅地にしようとしたのはむじゆんする

町が公営住宅や給食センターの用地を一坪五百円から一千円で買つているしかも佐々木氏の近くは坪六千円から八千円で売買されている、わずか一年か二年の賃貸料ぐらいで売り払う見解をききたい

小林町長　現況に即し農業経営の拡大に必要である価格は適当であるので提案した

新沼議員　いま売るところは区画整理事業の区域内である、町が宅地化する土地は余っていない、なぜ安く売り高いものを買うのかなつとくできない町民に不利益をあたえるのでないか

小林町長　現況に即し農地拡大をしたい

新沼議員　農地拡大は結構だが、ここは白糠線で分断される、その土地と等価交換した方がスムーズでないのか、その方が効果的でスッキリして疑惑を招かない

小林町長　現況に立つて農政上の立場で処分したい

遠山議員　もしそうなら売り払いの契約のなかに用途変更に期限をつけないのか、残地はなにに使用するのか、他の農家に売るのか

小林町長　本人のために拡大を適当とした、残地はただいま具体的に考えていない、こんご検討する

遠山議員　管理者は良好な状態で管理運営せねばならない、なぜこれだけに限定したのか、もつと卒直に運用すべきでないか全部を対象にしなかつたのはなぜか

小林町長　本人との話し合いでこの程度の処分を適当とした

遠山議員　農地の拡大は有難いが特定の佐々木氏以外は考えなかつたのか

小林町長　従来西小の実習地を作つていた事実を尊重し他は考えていない

遠山議員　行政財産に地上権は発生しない、宅地にする危険がある、なぜ提案せねばならないのか、未発表の原因やひつかかりがあるのでないか、筋の通らない提案である

小林町長　手頭ない

大久保議員　スッキリしない、ひつかかりがある、町長はなにか約束があるのでないか、なるほどと全議員が理解するようにしてほしい、その説明では理解できない、都市計画内にあり誰しも理解できない処分をすべきでない

小林町長　処分の考え方は農政上の観点である

宮口議員　議決にたいして確信があるか、あそこの合線五十九線から残地の利用を考えないか

小林町長　議決されれば執行する確信がある、残地の高度利用は五十九線とのつながりで道路を設定する

大滝議長　これで質疑を打ち切り討論に入る

遠山議員　どうしてもなつとくできない、将来住民訴訟に発展する、町民に悪影響をあたえる

香川議員　本案に賛成する長年の訴訟をおこしたが町も支庁も六反歩を認めた、当時の高橋町長自体が農地価格で売つてもよいとの段階があり訴訟は町が勝訴したが敗訴したとしても売つてあげるべきで、安いというが佐々木氏が農地を求めて坪二百円は安い価格でない

伊藤議員　交換の報告のときは町有地の高度利用が目的だつたが農地がすくないから処分すると変つた、財産処分の理由が薄弱で適当でない、駅から二㌔以内で坪二百円はあり得ない、公用地に前例をつくる要素となる、し尿処理場も決つていないし公共施設に有利に展開できるから反対する

矢野議員　あそこの土地は羽磨、川上町長に高橋町長二期とも管理していなかつた、実際には佐々木氏が作つていた、ある程度の権利がある、高橋町長は裁判沙汰にしたが親子が喧嘩をして町は発展しない、早く解決すべきで冷静に考えて佐々木氏以外に売れない、高橋氏も認めた面積であり前であれば農地価格で売る考えだつた、いまはそれより高い値段であり、ともかく解決すべきである

などの討論があつて起立採決の結果、賛成十四（鳴海、青木、斉藤祐一、宮口佐々木、山内、我妻、神本矢野、吉田、香川、大野、大原、斉藤昇議員）反対八（大久保、遠山、阿部、久保田、伊藤、新沼、加藤、多田坂栄議員）の多数決で原案どおりに可決して、この問題にピリオドを打ちました。

香川氏以外は認めず

公用地の使用約束　行政訴訟　町側が主張をくつがえす

足寄町の公用廃止地をめぐつての行政訴訟は九日に準備手続きが終了する予定でしたが、町側がこれまでの主張をくつがえしたために二十九日に再開して十一月の合議法廷（裁判官三名）に臨むことになりました

この日午後一時四十五分から釧路地方裁判所で森本判事、井川書記官、松山明原告、被告町長代理小泉、谷課長らの立会で双方の主張を整理し各証拠の認否をおこないましたが、町側はこの日になつて、公用廃止地の便用住民の氏名がわからないと言い出し、さらに町に下付となつても従来どおり使用させると約束したのは香川荒一氏だけで他の人々は一切認めておらず土地明け渡しを求めたが応じないので内容証明郵便で使用禁止を通告してあると主張したために、この点について双方が立証し合うことになつて午後三時すぎに散会しました。

教育委員長に新津氏

足寄町教育員会で委員の異動にともない二日午後に定例会をひらき、藤村与作三宅隆義、新津幸助、大野剛、岡靖の全委員が出席して藤村氏を仮議長にして委員長選挙をおこなつた結果新津氏三票、藤村氏一票、白紙一票で新津が当選、委員長代理に三宅氏、教育長に岡氏を選任しました。このために藤村氏は自動的に十勝教委連、全道教委連の会長および全国教委連理事の地位を失いました。

なお、前教育長の清水清作氏は道教委で札幌冬期オリンピック関係を担当することになります。

身障者のつどい

管内初の研修親睦

駅通りや大通りの交通安全旗を寄進したり公民館や中学校に植樹したりという不自由な身をもつて奉仕活動につとめている身体障害者協会足寄分会では、六日に公民館に会員五十余名があつまつて管内ではじめての研修親睦会をひらきました。

会は日野敏彦分会長のあいさつ、服部貞吉副分会長の経過報告、三宅社会福祉協議会長のあいさつにつづいて小林町長、十勝支庁長代理、大滝議長から激励のことばがあつて、十勝支庁社会福祉課長鈴木源造氏の「身障者援護の施策と社会復帰について」の講演があり、このあと懇親会をおこないました。

講演のなかで鈴木課長は三十万円までの世帯更生資金や補装具助成の活用、各種の免税措置や恩典などの利用を強調していました。

九大演習林の記念式

九州大学農学部附属北海道地方演習林（足寄）の創設二十年記念式は九月三十日に足寄林業会館に町内外の関係者来賓など百余名があつまつておこなわれ、九大演習林長の式辞、道演習林長の沿革報告につづいて九大総長代理、東大演習林長、十勝支庁長、足寄町長議長、三原幸夫氏らの祝辞があり、同演習林に協力された大谷光三、尾西民男、井原吉之助、新妻秋雄、上野林蔵、清野勝美、岡部静江さんらに感謝状がおくられて祝宴に入りました。

この演習林は旧軍馬補充部跡地八千㌶を基礎にして北方寒地林業の研究につとめてきたもので、この間に落葉松一千㌶の植林を実施しました。

町のあれこれ

選挙のとき以外トンと姿をみせなかつた町村道知事が九月二十八日に道立足寄高校へ立ち寄つたのは、四年後の冬季札幌オリンピックを意識して同校グランドに道費四百万円を投じてスケート練習の夜間照明灯を特に配慮施設したためで、体育館での生徒代表、選手代表の〻御礼言上〻にたいして低音のきいた町村節で十五分間にわたつて若い世代への願望をこめて道議会以上の熱弁ぶりでしたが、定時制生徒の通学バスの陳情にたいしてはつれないゼロ回答。

★　★

足寄町議会では一日の本会議から会議中のお茶とたばこは禁止という大滝議長の提案にたいして満場異議なく賛成して直ちに実行。

★　★

人事は庁内起用の小林町長の方針どおりに教育長は岡次長の昇格、次長には木村議会事務局長、局長には土田管財係長、管財係長は山本庶務係長の兼務、階下の用務員室を改造してここに農業構造改善係を新設してこの係長に杉本住民相談室長、同室長には江口工務係長、退職した白倉農政係長の後任に横田年金係長、年金係長は別宮国保係長の兼務など一連の人事を一日に発令

★　★

玉川木工場と黒木木工場との合併後の裁判沙汰その後一日に帯広の法廷で前信金足寄支店長の村上幹旺氏と加藤栄治氏の証人尋問がありましたが、加藤氏の証言が時間切れでおわらず次回十一月十五日に続行となり和解ムードは立ち消えてゆくところまでゆく気配。

足寄町旭町　アサヒ理容所　T1467
毎度ご来店有難う御座います
男前を作る店として新しい理容技術ならびに世界六十三カ国で発売されておりますアルード化粧品を使用致しております
また男性、女性毛染も赤黒十二色の色々ありますので自然の美しい整髪ができます
日曜日も営業

丸善石油特約店　セメント　プロパンガス
陸別石油
陸別町　T二七二

大誉地営業所十一月初旬オープン！
電話大誉地5番
陸別石油株式会社
株式会社鷲野商店
取締役社長　鷲野正雄

鷲野商店
陸別町　T一七
林業農業機械ヤンマー
マツカーチエンソー
各代理店

上野カメラ堂
カメラ
八ミリ
写真材料
上野復興
足寄駅通り　T四二〇

土木建築請負
浴槽便槽設備
建築設計精算
角張事業所
代表　角張征一
足寄町旭町二区
T180

新畳表替　敷物一式二段ベッド
ふすま張替
中古畳
小林畳店
小林幸三郎
足寄町大通り山口整骨院前　T四二八

大自然のなかの人工美
—いで湯のふるさと—
観光と保養の
芽登温泉
足寄町芽登　T二八五

近代住宅に新建材！
家具建具　製造　各種サッシ施工
各種建築資材
新築改築に御相談下さい！
桜井建具店
足寄町北五区　電話三六二番

技術に生きる！
テレビ
ラジオ
ステレオ
レコード
世界のビクター
—あらゆる電気器具—
有限会社　ミネ・デンキ
足寄劇場前　電話142番